



**Empowering the digital future**

デジタルの未来に、もっと力を。

# 2014年3月期 第2四半期決算説明会

デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社

2013年11月7日

- 決算概要（連結・単体）
- 事業の動向
- 重点施策とトピックス
- 事例紹介

# 連結決算概要

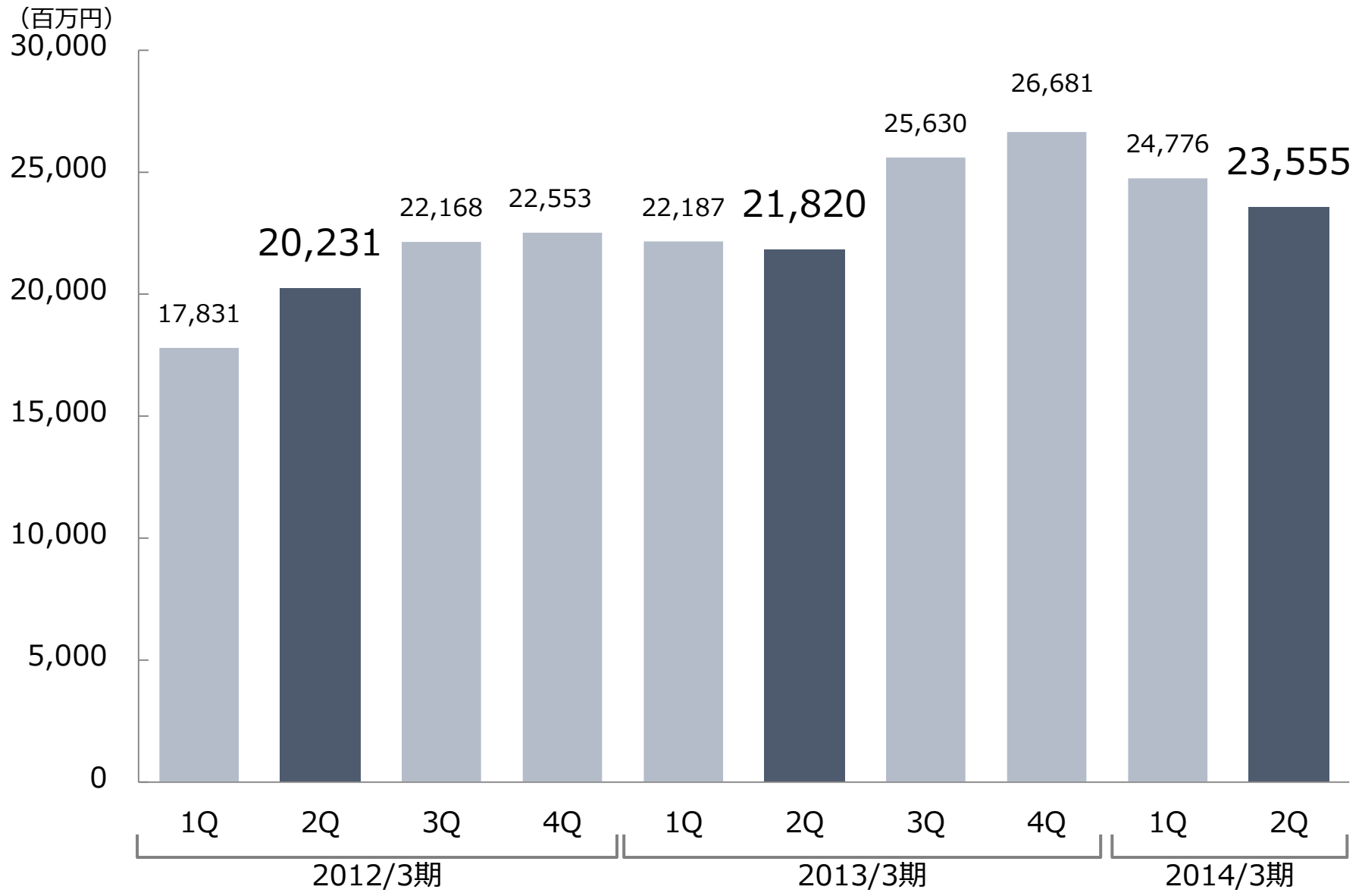
- 上半期累計では、第2四半期の復調により増収も、先行投資継続による販管費増加で営業利益は減少
- 第2四半期売上高は、前年同期比 7.9%増の235億円、売上総利益と共に第2四半期ベースで過去最高を記録  
純利益は株式売却等で大幅増加
- 連結、単体共にサーチ広告及びスマートデバイス向け広告が大きく伸張
- グループでは、アイレップ、博報堂アイ・スタジオが好調

(百万円)

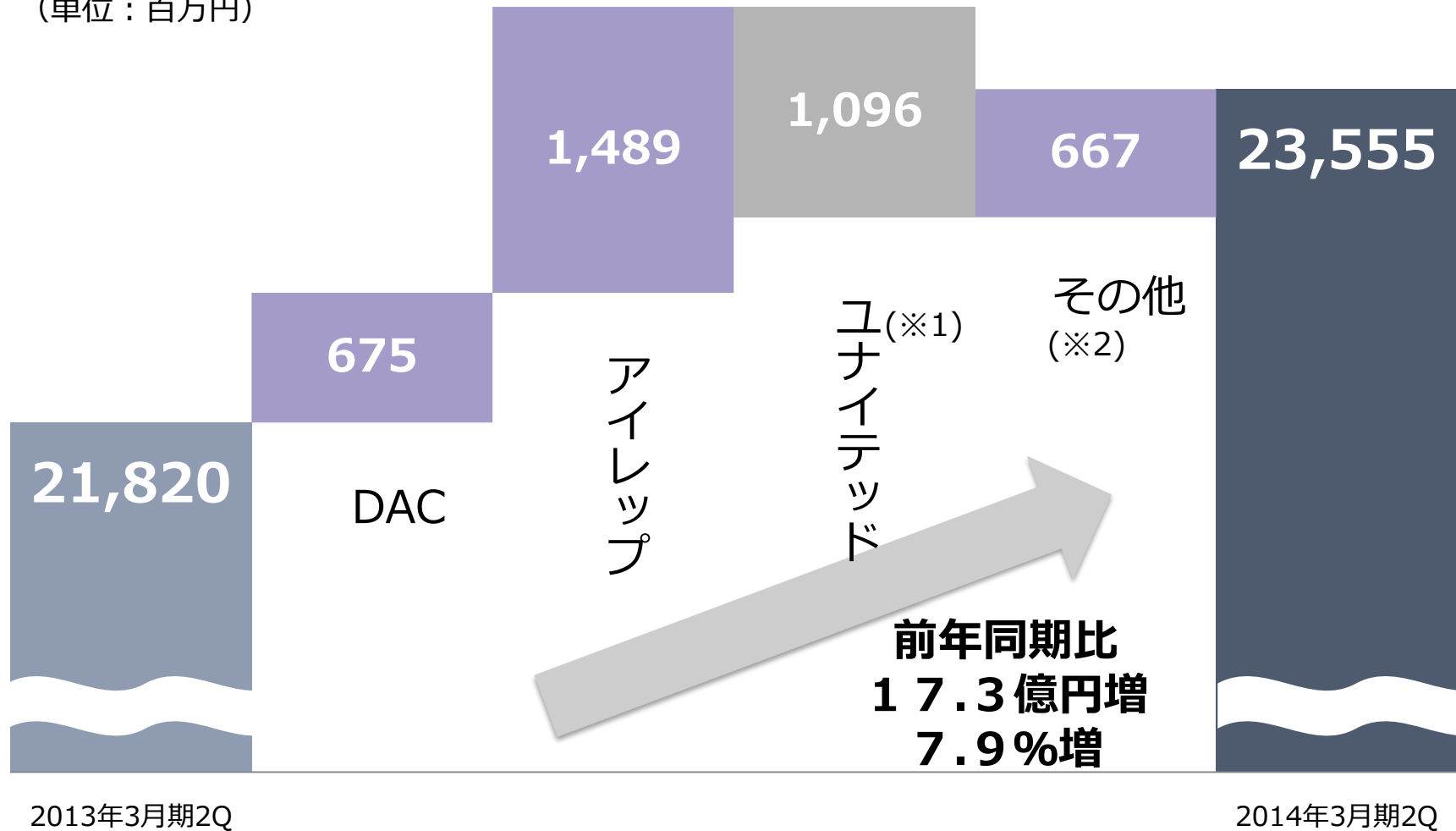
	FY2013 (2014年3月期)			
	2Q (四半期)		2Q (累計)	
		前年同期比		前年同期比
売上高	23,555	107.9%	48,332	109.8%
売上総利益	3,415	107.5%	6,686	99.6%
営業利益	362	172.6%	637	79.8%
当期(四半期) 純利益	992	1,294.3%	1,009	375.6%
EBITDA	562	132.6%	1,028	84.0%
OM率 (※)	10.6%	4.0pt	9.5%	-2.4pt

(※) オペレーティングマージン率 = 営業利益 ÷ 売上総利益

# 四半期売上高の推移（連結）：2Qとして過去最高

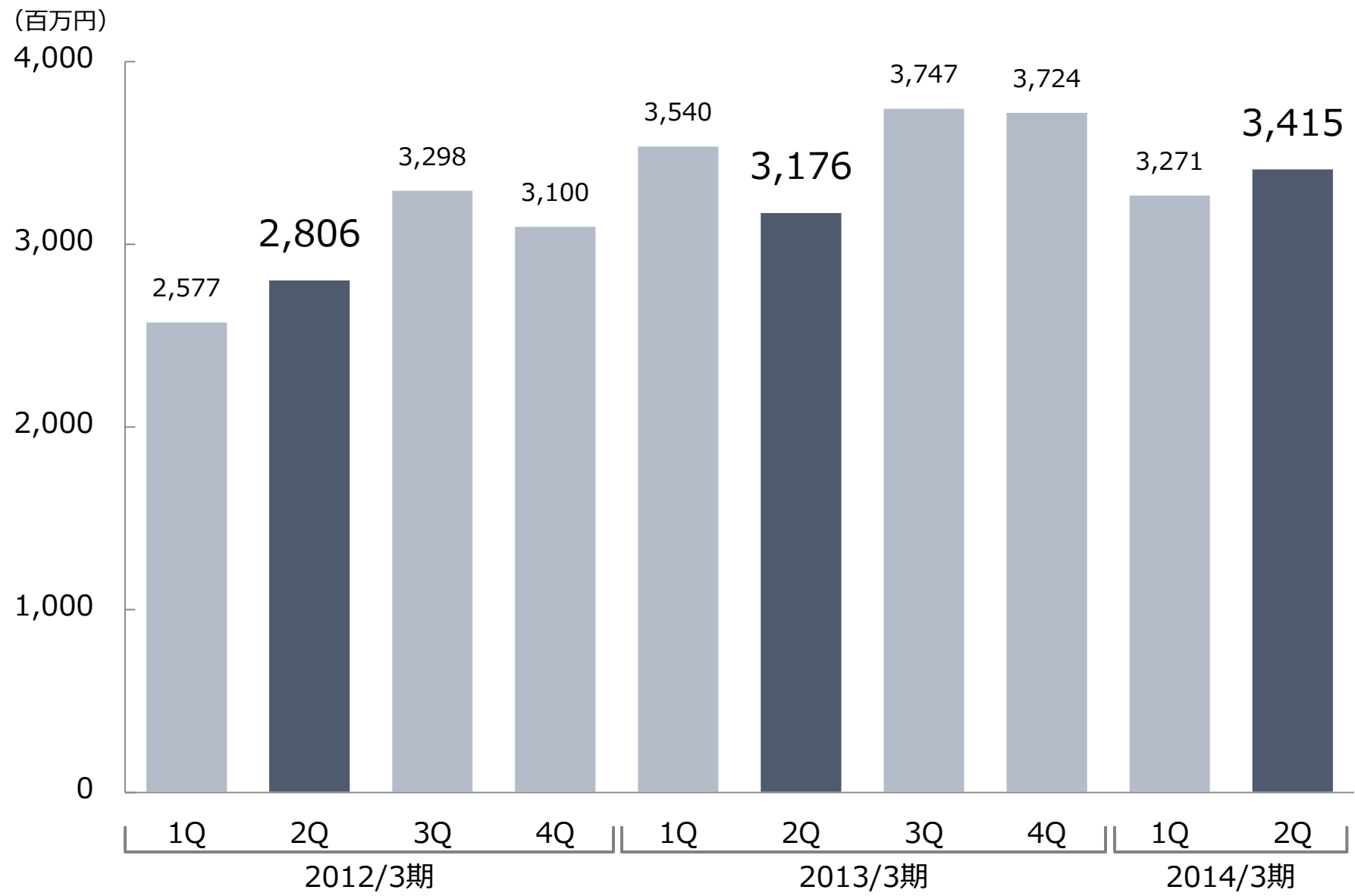


(単位：百万円)



(※1)ユナイテッドの前年売上高は合併前のモーションビートとスパイア両社の売上高を合算しています。  
 (※2)その他には、グループ間取引消去が含まれています。

# 四半期売上総利益の推移(連結): 2Qとして過去最高





売上高	2013年3月期2Q (2012/4~2012/9)		2014年3月期2Q (2013/4~2013/9)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
インターネット関連事業	44,007	99.1	48,293	99.8	109.7
エージェント・ソリューション	39,426	88.8	43,199	89.3	109.6
メディア・ソリューション (※)	4,995	11.2	6,054	12.5	121.2
ソリューション間消去	△413	-0.9	△960	-2.0	-
インベストメント事業	415	0.9	104	0.2	25.2
合計	44,422	100.0	48,398	100.0	108.9

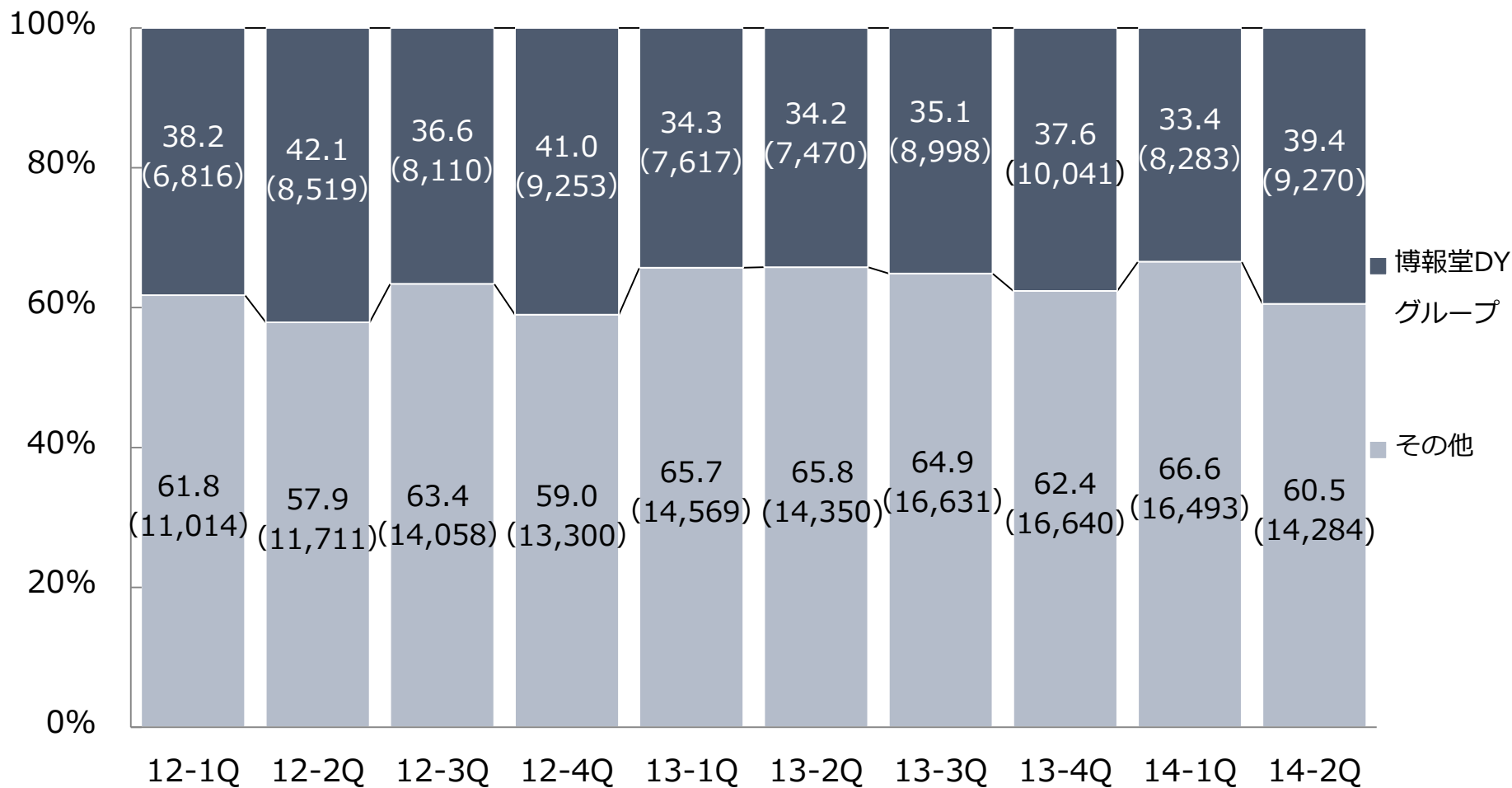
売上総利益	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
インターネット関連事業	6,663	95.9	6,632	99.2	99.5
エージェント・ソリューション	4,234	60.9	4,055	60.7	95.8
メディア・ソリューション (※)	2,427	34.9	2,617	39.1	107.8
ソリューション間消去	1	0.0	△40	-0.8	-
インベストメント事業	288	4.1	54	0.8	18.8
合計	6,951	100.0	6,686	100.0	96.2

\* メディア・ソリューションに含まれるメディア売上高については、エージェント・ソリューションとの比較のために売上高をグロス数値に換算しております。従って、会計上の数値とは異なっております。

	2013年3月期2Q（累計） （2012/4～9）		2014年3月期2Q（累計） （2013/4～9）		
	金額 （百万円）	百分比 （%）	金額 （百万円）	百分比 （%）	前年同期比 （%）
博報堂D Yグループ	15,088	34.3	17,554	36.3	116.3
その他	28,920	65.7	30,777	63.7	106.4
合計	44,008	100.0	48,332	100.0	109.8

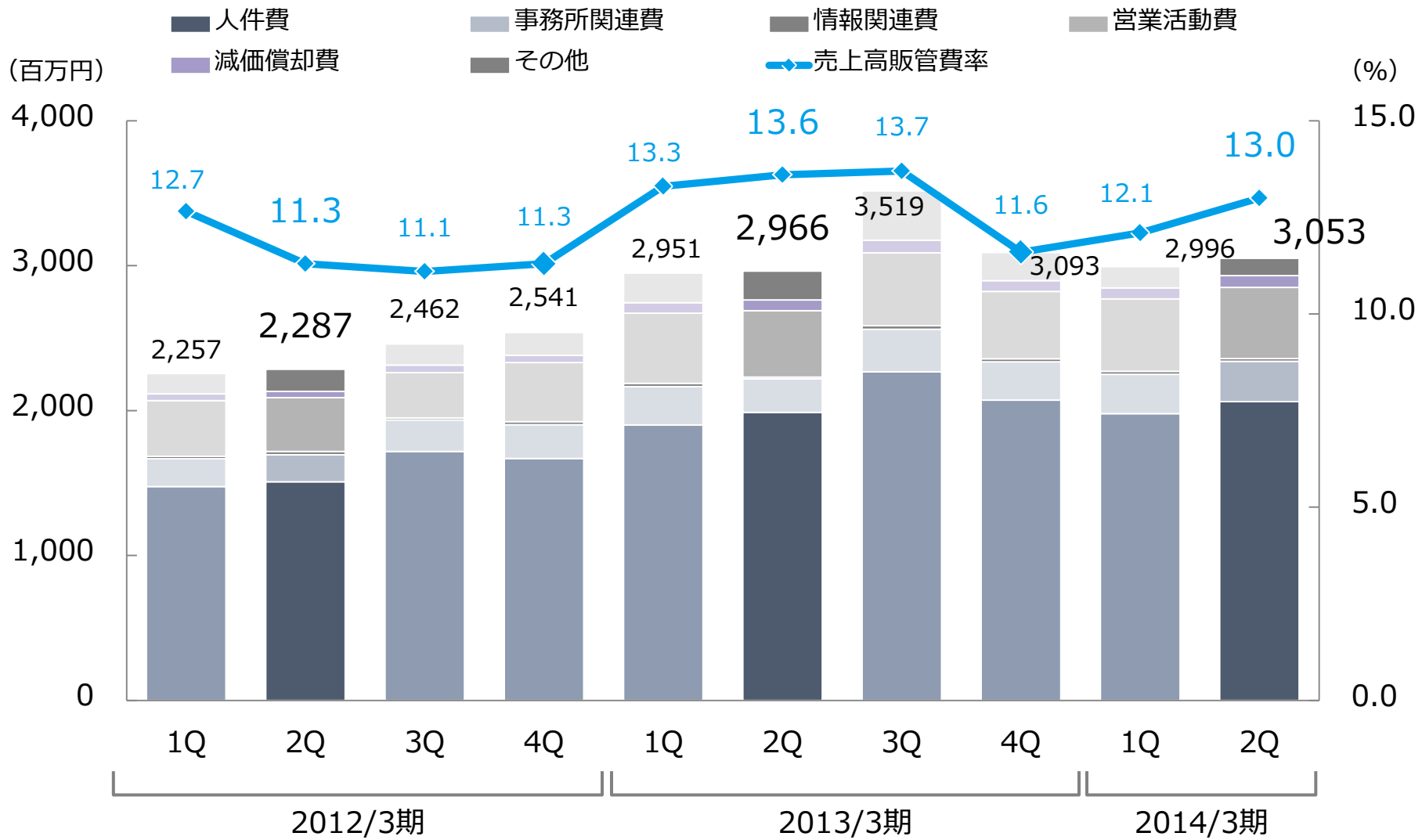
広告会社別売上高構成比の推移

(単位：%/百万円)



※カッコ内は四半期ごとの広告会社別売上高の数値です。

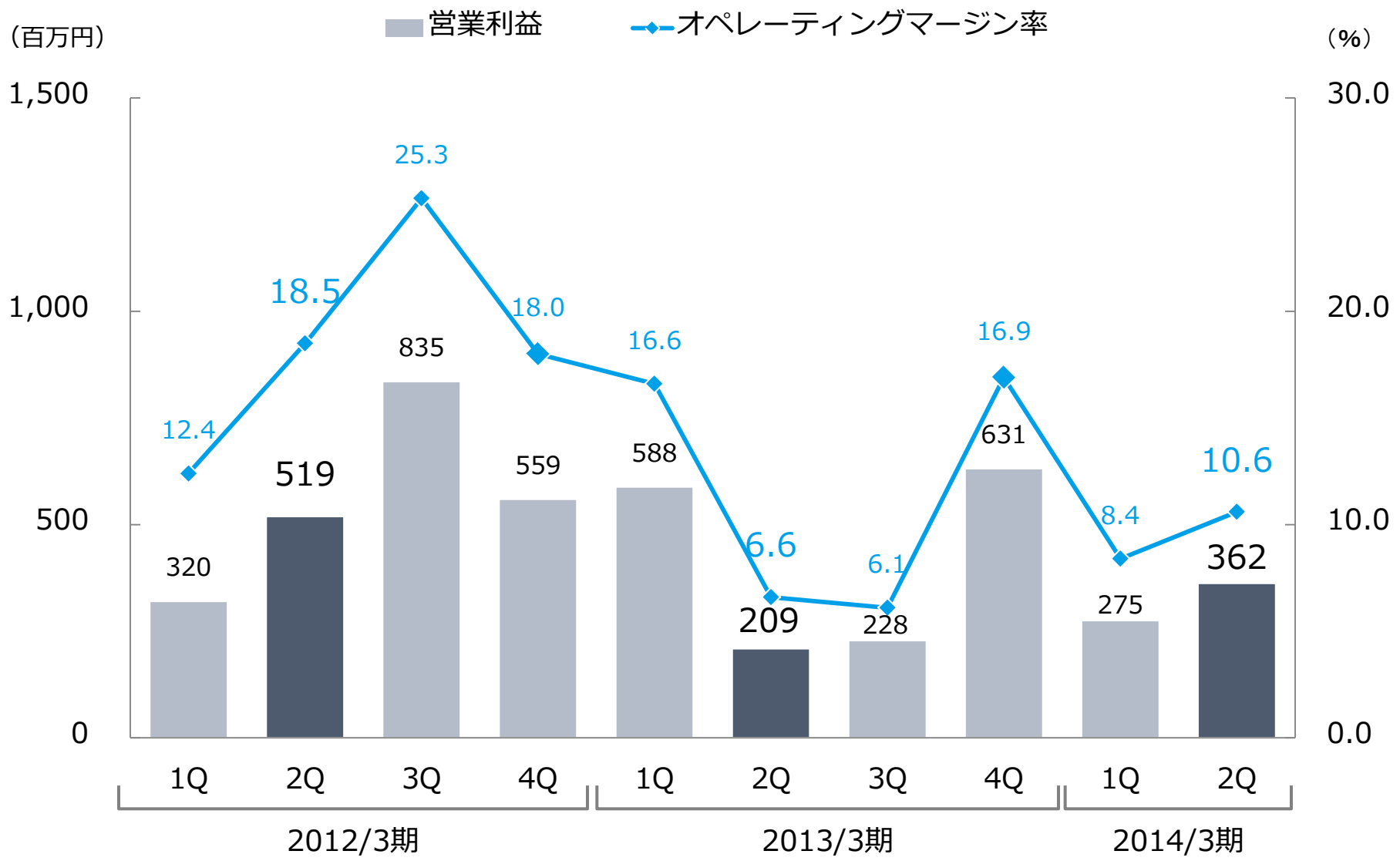
# 四半期販管費の推移(連結)：人材投資を継続



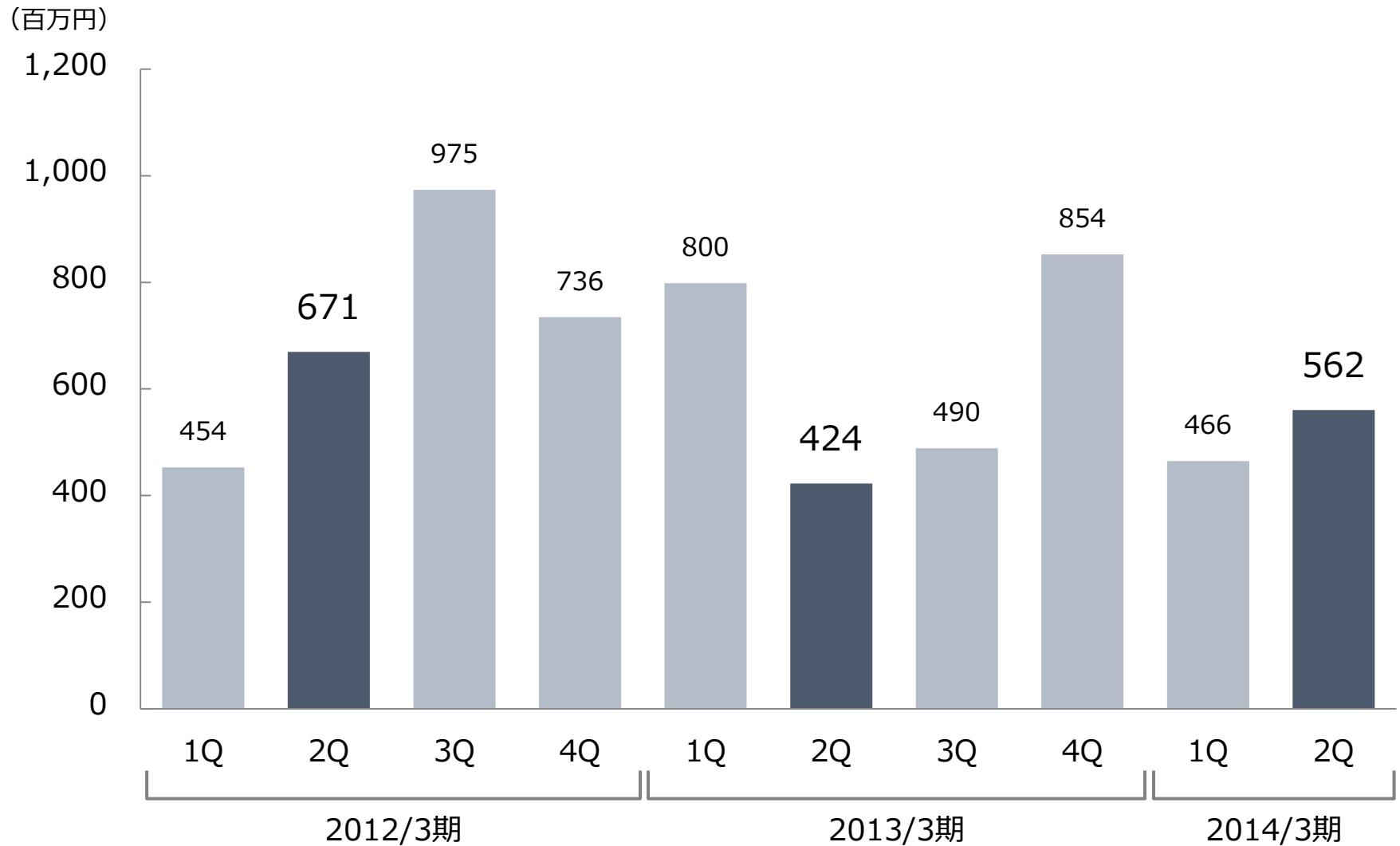
従業員数(※) **1,666名**  **1,772名**

(※当社ならびに子会社の取締役、出向受入、契約社員、派遣社員を含めた人数) 11

# 四半期営業利益の推移(連結)：OM率は10%台に上昇



# 四半期EBITDAの推移(連結)：営業利益に連動して増加



(※) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

## 2Q業績予想と結果（連結）：第2四半期は前年同期比 増収増益

(累計)

(百万円)

	2014年3月期2Q (予想) (2013/4~9)	2014年3月期2Q (実績) (2013/4~9)	
			前年同期比
売上高	49,730 ~ 50,515	48,332	109.8%
営業利益	583 ~ 758	637	79.8%
経常利益	601 ~ 781	654	77.7%
当期 (四半期) 純利益	850 ~ 904	1,009	375.6%
1株当たり純利益 (円)	17.51 ~ 18.62	20.79	-

(四半期)

	2014年3月期2Q (予想) (2013/7~9)	2014年3月期2Q (実績) (2013/7~9)	
			前年同期比
売上高	24,953 ~ 25,739	23,555	107.9%
営業利益	308 ~ 482	362	172.6%
経常利益	317 ~ 498	371	156.4%
当期 (四半期) 純利益	833 ~ 887	992	1,294.3%

	2013年3月期末 (2013/3時点)		2014年3月期2Q末 (2013/9時点)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年期末比 (%)
流動資産	24,859	79.3	24,722	79.6	99.4
固定資産	6,485	20.7	6,340	20.4	97.8
資産合計	31,344	100.0	31,062	100.0	99.1
流動負債	14,011	44.7	12,867	41.4	92.1
固定負債	860	2.7	647	2.1	71.4
負債合計	14,871	47.4	13,515	43.5	90.9
株主資本	11,029	35.2	11,747	37.8	106.5
少数株主持分	4,931	15.7	5,194	16.7	105.3
その他	511	1.6	602	1.9	117.8
純資産合計	16,472	52.6	17,546	56.5	106.5
負債・純資産合計	31,344	100.0	31,062	100.0	99.1

- 主な流動資産の減少要因
  - ・ 売掛金の減少
- 主な固定資産の減少要因
  - ・ のれんの償却

- 主な流動負債の減少要因
  - ・ 買掛金の減少
- 主な純資産合計の増加要因
  - ・ 利益剰余金の増加



	2014年3月期2Q (2013/4~9) (百万円)
営業活動によるキャッシュフロー	1,071
投資活動によるキャッシュフロー	293
財務活動によるキャッシュフロー	546
現金及び現金同等物に係る換算差額	63
現金及び現金同等物の増減額	1,975
現金及び現金同等物の期首残高	6,595
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△157
現金及び現金同等物の期末残高	8,413

### ■ 主な営業活動によるキャッシュフロー

・ 税金等調整前当期純利益	2,074百万円
・ 売上債権の減少	2,470百万円
・ 仕入債務の減少	△1,806百万円
・ 関係会社売却損益 (投資キャッシュフローに振替)	△1,404百万円

### ■ 主な財務活動によるキャッシュフロー

・ 短期借入金の増加	850百万円
・ ストックオプションの行使による収入	121百万円
・ 配当金の支払額	△291百万円
・ 少数株主への配当金の支払額	△61百万円
・ 長期借入金の返済による支出	△70百万円

### ■ 主な投資活動によるキャッシュフロー

・ 定期預金の預入・払い戻し	△565百万円
・ 関係会社株式の売却による収入	1,547百万円
・ 投資有価証券の取得による支出	△300百万円
・ 無形固定資産の取得による支出	△360百万円

# 2014年3月期3Q業績予想（連結）：累計ベースで増収増益へ

(累計)

(百万円)

	2013年3月期3Q (実績) (2012/4~12)	2014年3月期3Q (予想) (2013/4~12)	前年同期比
売上高	69,638	75,122 ~ 76,070	108% ~ 109%
営業利益	1,026	1,133 ~ 1,225	110% ~ 119%
経常利益	1,077	1,190 ~ 1,282	111% ~ 119%
当期 (四半期) 純利益	526	1,201 ~ 1,258	228% ~ 239%
1株当たり純利益 (円)	20.79	24.73 ~ 25.90	—

(四半期)

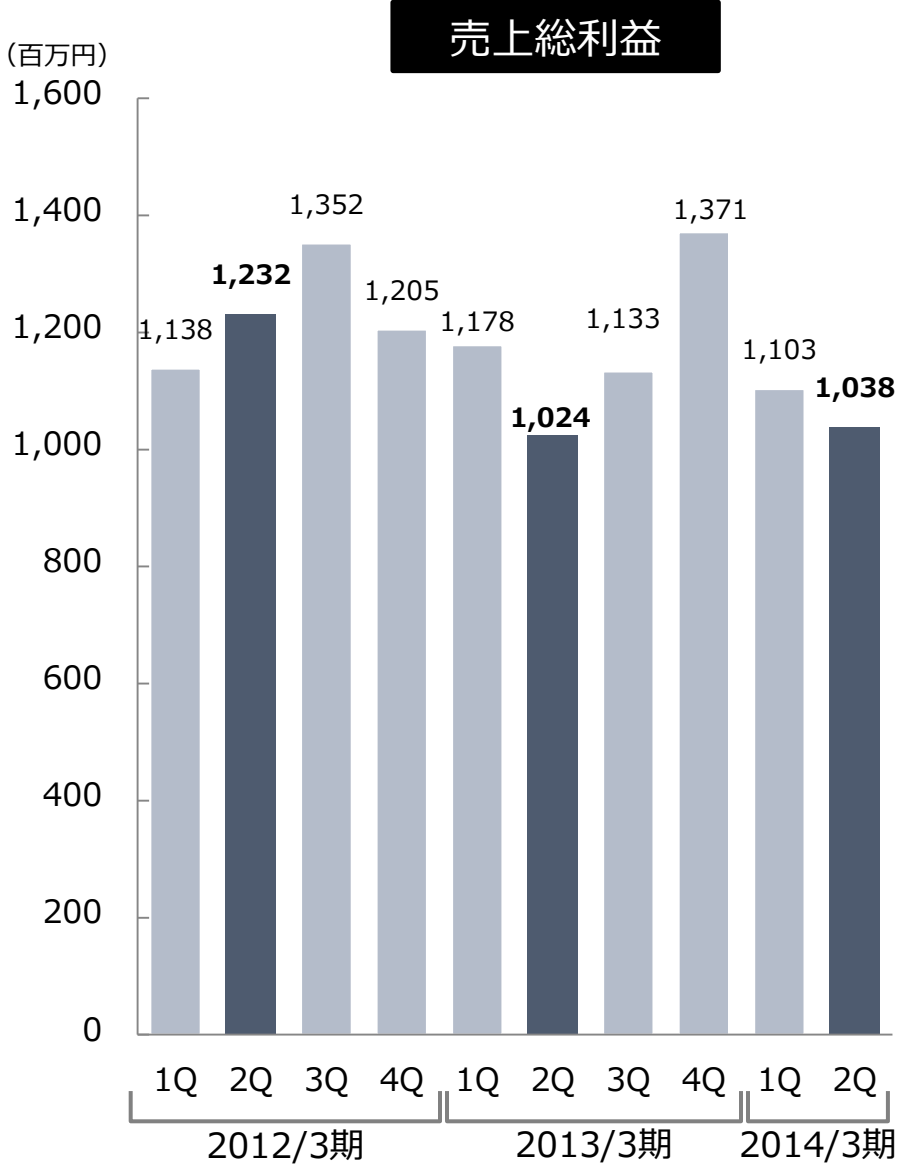
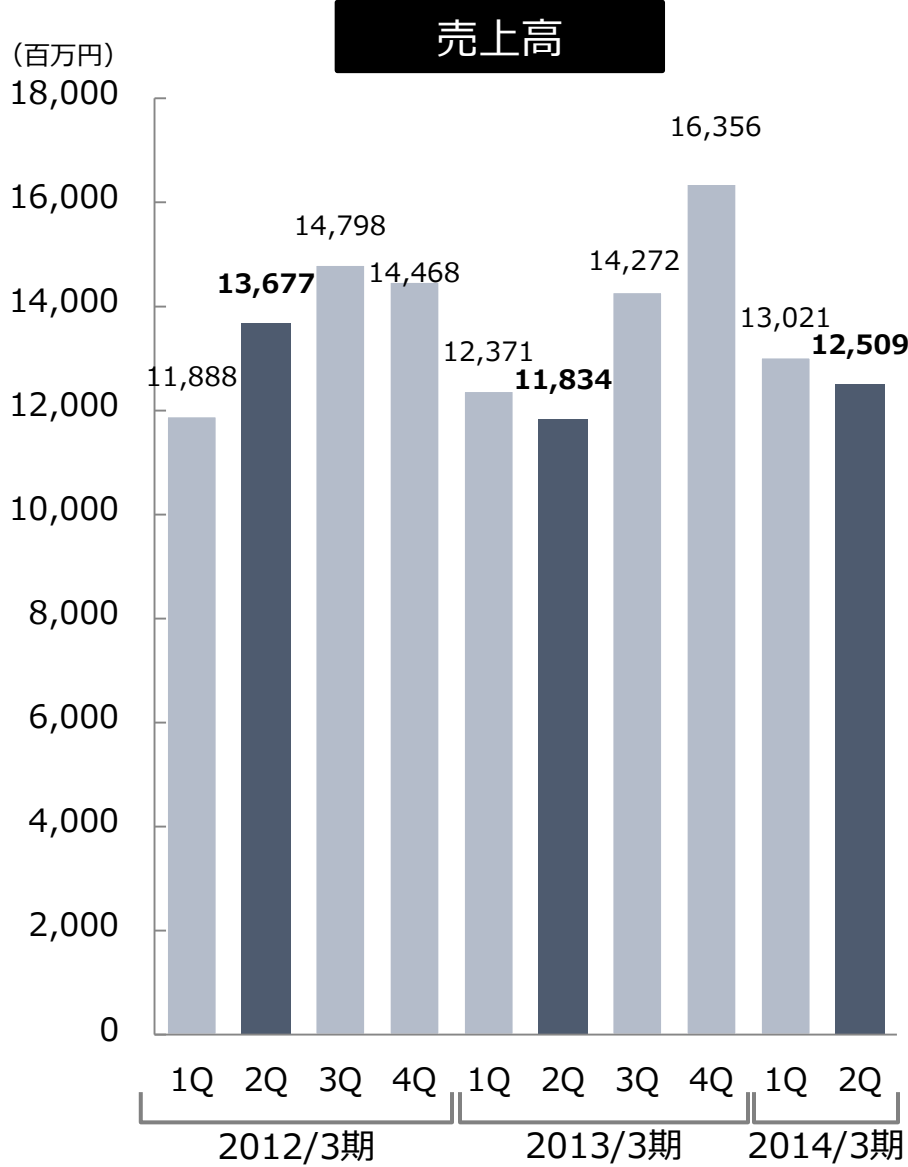
	2013年3月期3Q (実績) (2012/10~12)	2014年3月期3Q (予想) (2013/10~12)	前年同期比
売上高	25,630	26,790 ~ 27,738	105% ~ 108%
営業利益	228	496 ~ 588	217% ~ 258%
経常利益	234	535 ~ 627	229% ~ 268%
当期 (四半期) 純利益	257	191 ~ 248	74% ~ 96%

# 単体決算概要

	FY2013 (2014年3月期)			
	2Q (四半期)		2Q (累計)	
		前年同期比		前年同期比
売上高	12,509	105.7%	25,530	105.5%
売上総利益	1,038	101.4%	2,141	97.2%
営業利益	5	8.0%	62	27.0%
当期(四半期) 純利益	1	4.5%	111	44.1%
OM率 (※)	0.5%	-6.3pt	2.9%	-7.6pt

(※) オペレーティングマージン率 = 営業利益 ÷ 売上総利益

# 売上高・売上総利益の推移(単体)



売上高	2013年3月期2Q（累計） (2012/4~9)		2014年3月期2Q（累計） (2013/4~9)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
メディアサービス	23,188	95.8	24,268	95.1	104.7
テクノロジーサービス	884	3.7	1,147	4.5	129.7
オペレーションサービス	133	0.5	115	0.5	86.6
合計	24,206	100.0	25,530	100.0	105.5

売上総利益	金額 (百万円)		金額 (百万円)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
メディアサービス	1,690	76.7	1,601	74.8	94.7
テクノロジーサービス	416	18.9	460	21.5	110.6
オペレーションサービス	95	4.3	79	3.7	83.4
合計	2,203	100.0	2,141	100.0	97.2

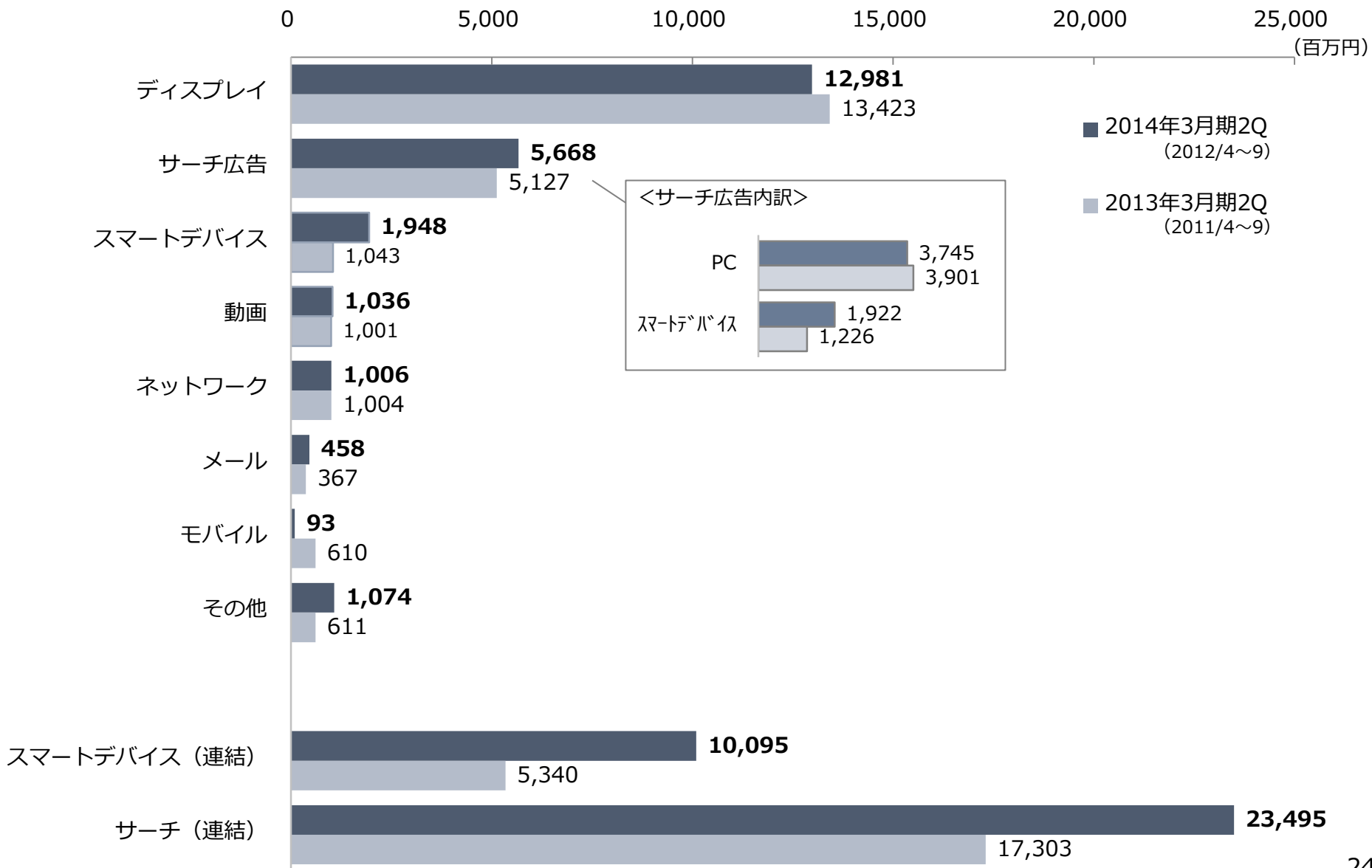
# 事業の動向

	2013年3月期2Q (累計) (2012/4~9)			2014年3月期2Q (累計) (2013/4~9)		
	売上高 (百万円)	出稿件数 (件)	平均単価 (千円)	売上高 (百万円)	出稿件数 (件)	平均単価 (千円)
ディスプレイ	13,423	15,889	845	12,981	14,875	872
動画	1,001	1,342	746	1,036	1,223	847
サーチ広告	5,127	10,543	486	5,668	10,399	545
*サーチ(PC)	3,901	—	—	3,745	—	—
*サーチ(スマートフォン)	1,226	—	—	1,922	—	—
スマートデバイス	1,043	1,825	572	1,948	2,996	650
モバイル	610	1,534	398	93	407	230
ネットワーク	1,004	7,069	142	1,006	10,358	97
メール	367	961	383	458	847	540
その他	611	1,773	345	1,074	1,968	546
合計	23,188	40,936	566	24,268	43,073	563

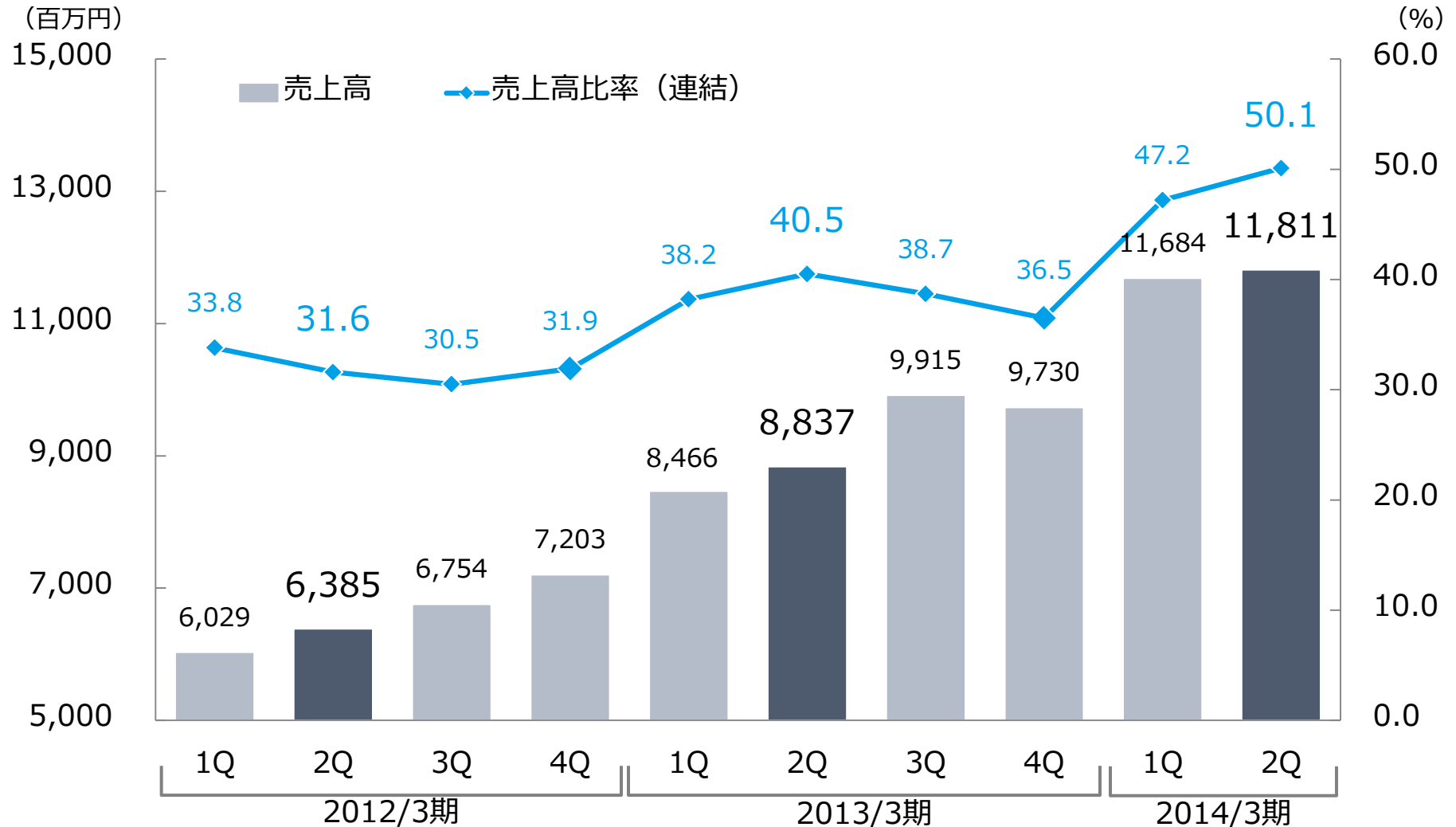
(※) 出稿件数、平均単価は社内管理上の集計数値となります。



# 媒体メニュー別売上高：スマートデバイス・サーチ好調

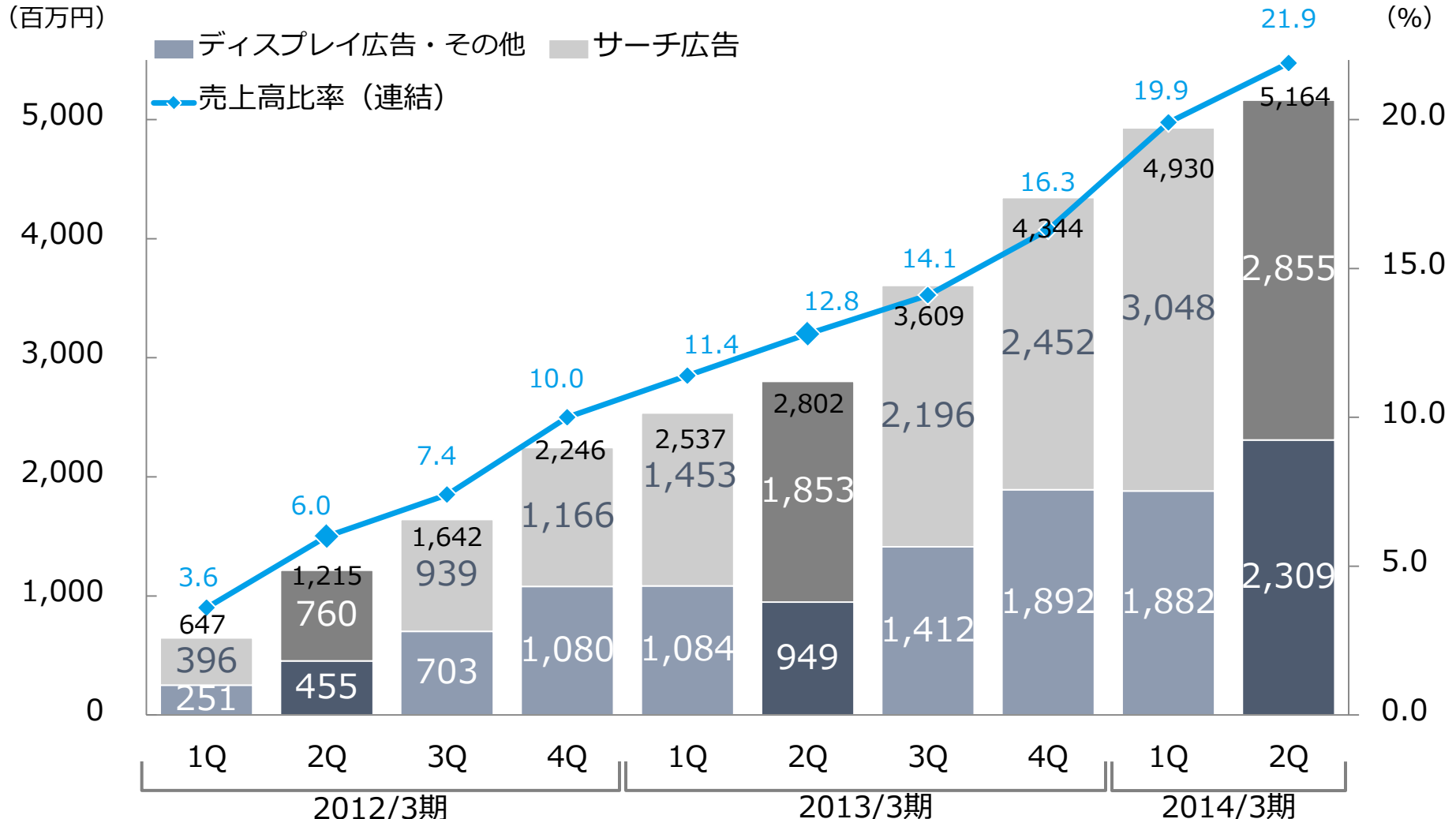


## サーチ広告は順調に拡大



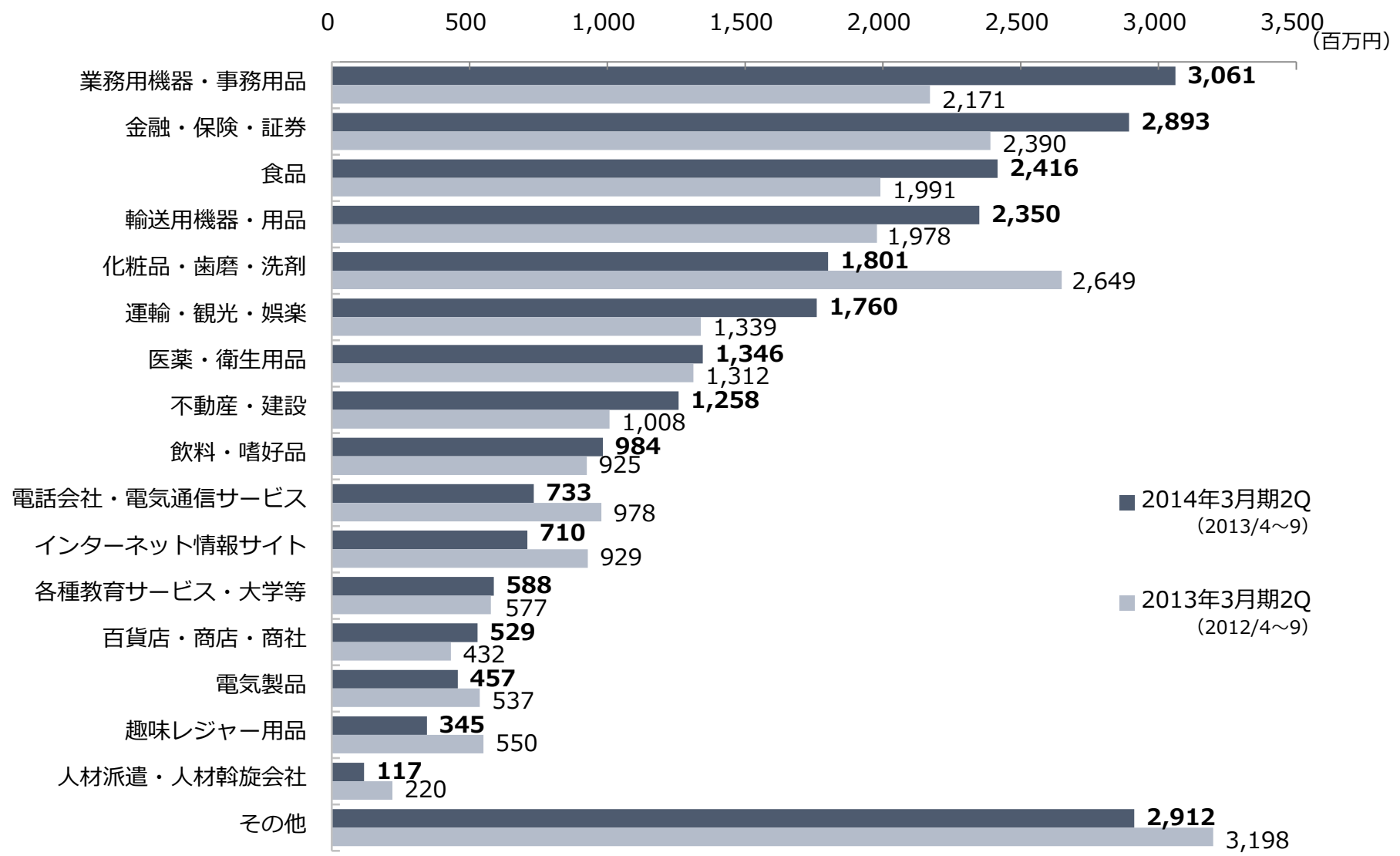
(※) 売上高には、SEOも含まれます。

## スマートデバイス広告は順調に拡大

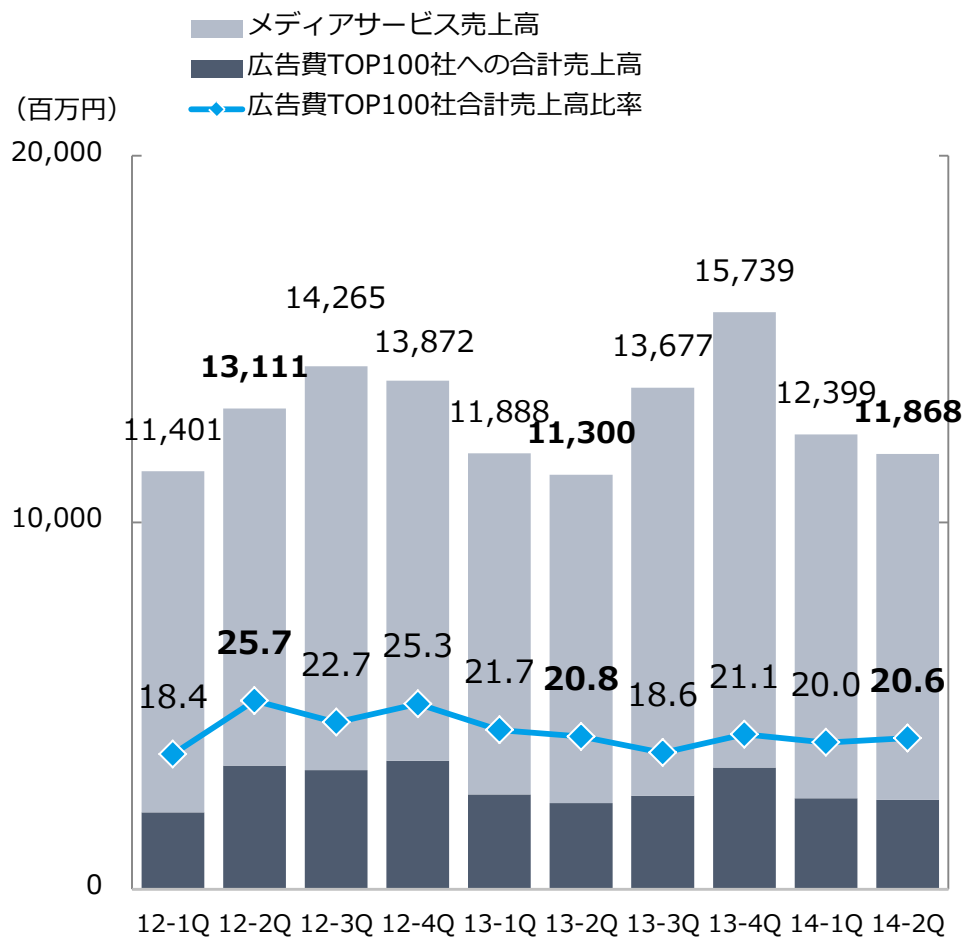


(※) その他には、主にアフィリエイト広告が含まれています。

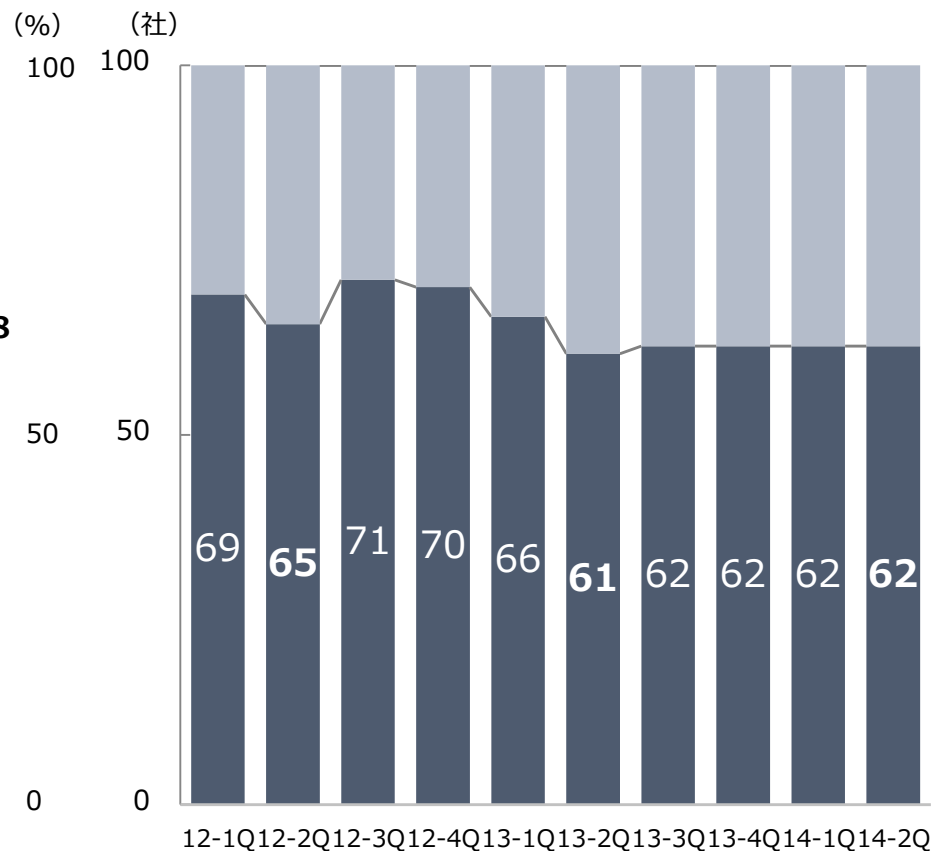
# 業種別売上高(単体)：業務用機器・事務用品、金融関連伸びる



## ◆ 大型広告主に対する売上高の推移




























## ◆ 大型広告主取扱社数の推移

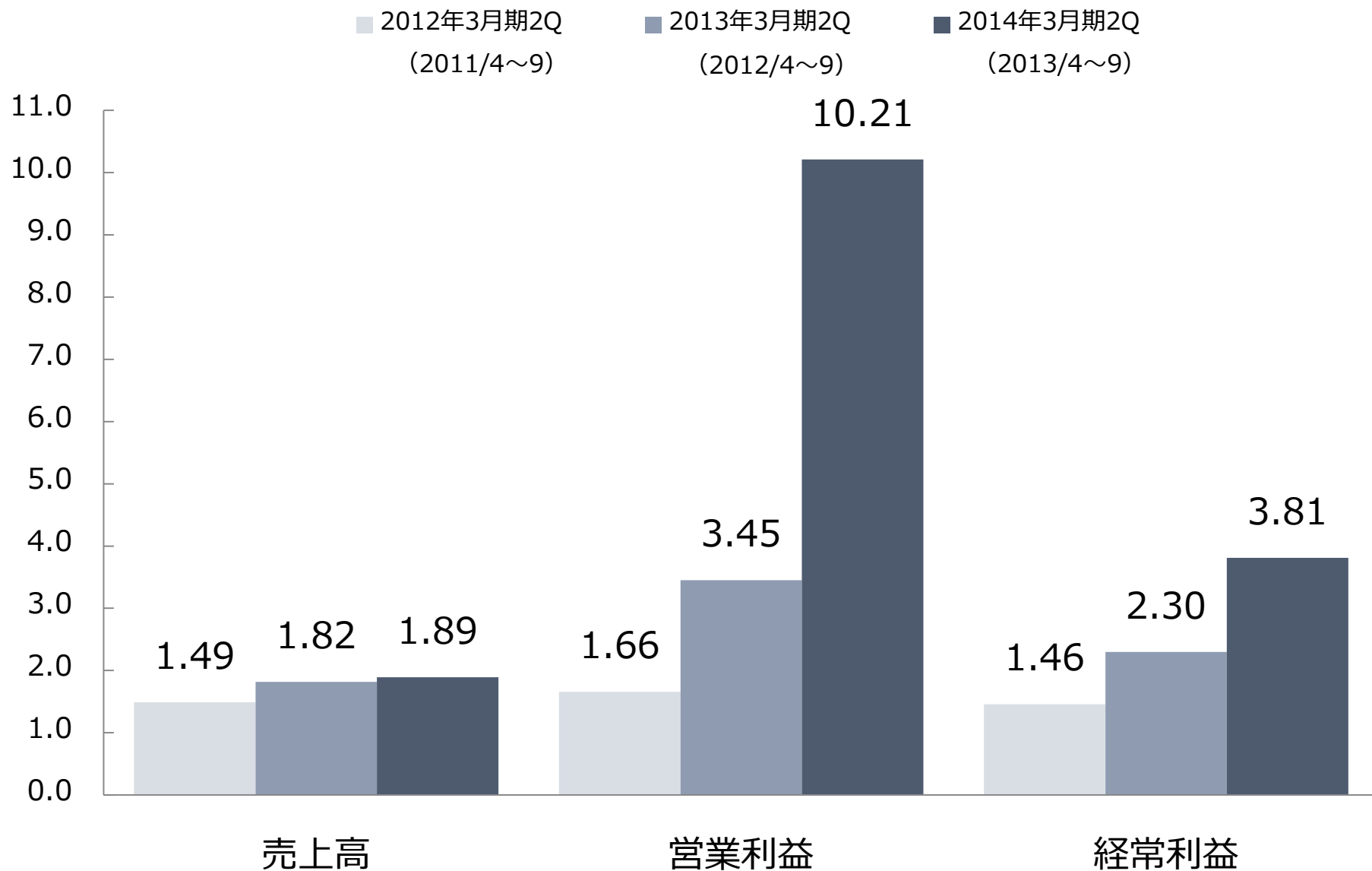


(※) 広告費TOP100社には、日経広告研究所「有力企業の広告宣伝費」の広告宣伝費上位100社を使用。2012年1Qについては2010年度版のデータ、2012年2Q-2013年1Qについては2011年度版のデータ、2013年2Qについては2012年度版のデータを使用

# 連結子会社の動向：業容拡大を重視

## ◆ 連結子会社の前年同期比較（累計）

	子会社	動向	
		売上高	営業利益
エージェント ソリューション	 irep <small>a cycle of success, with us</small>		
			
			
			
			
			
			
メディア ソリューション			
			



# 重点施策とトピックス



## 急激に変化する環境への迅速な対応

スマート化

新領域

運用型広告

経営資源を再配分し、収益確保&利益率向上を目指す  
と同時に、中長期的な競争力の維持強化を図ります

1. 運用型広告への対応体制の更なる強化
2. 新フォーマット プレミアム広告の開発・展開
3. スマートデバイス広告の売上シェア向上
4. データマネジメントプラットフォーム  
「Audience One<sup>®</sup>」の拡販



**ユナイテッド（株）が提供する  
スマートフォンきせかえコミュニティアプリ  
10～20代前半女性中心にグローバルにヒット  
全世界累計ダウンロード1,500万突破（2013年9月）**



**「CocoPPa アバター（仮称）」で業務提携（10月31日）**



+



（株）サイバーエージェントの100%子会社  
「ポケットランド」等アバターコミュニティの実績



**「共同運営」で課金サービス化**

**「スマートフォンアバターコミュニティアプリ」を今期リリース予定**



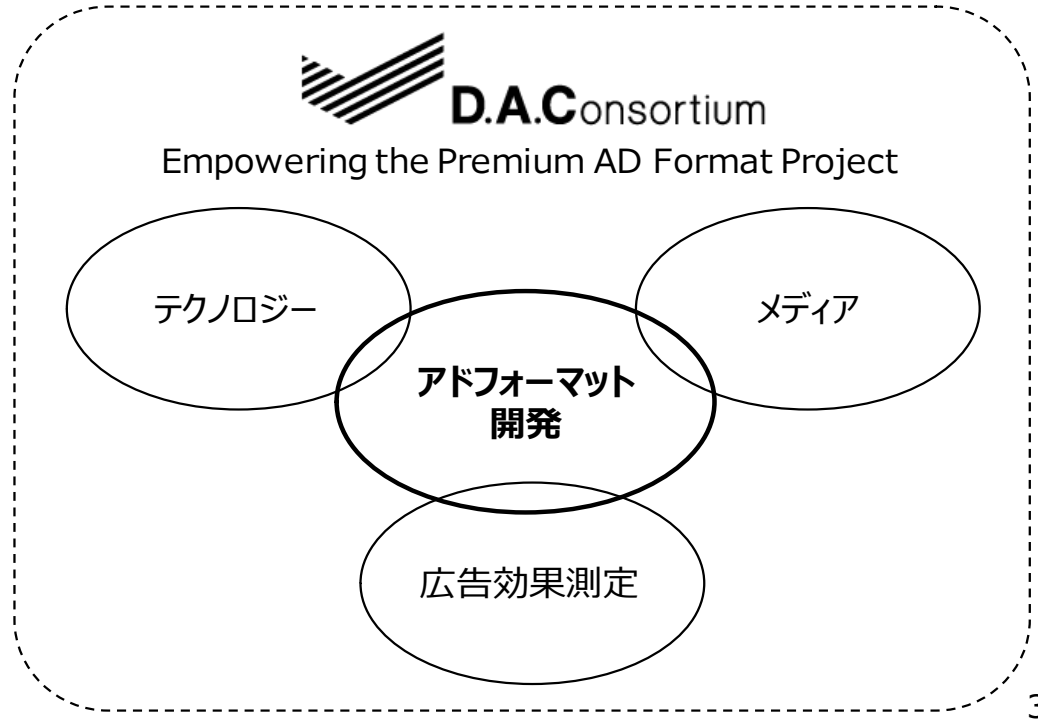
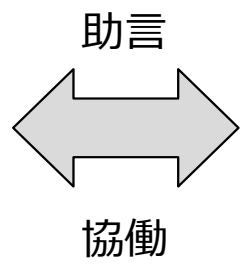
## 米国オンライン広告媒体団体 I A B と協働 プレミアム広告市場拡大へ 当社社内プロジェクト 「Empowering the Premium AD Format Project」を開始

IABの次世代アドフォーマット「**Rising Stars**」を  
参考に、日本におけるプレミアム広告のアドフォーマットを開発

米国オンライン広告  
媒体団体



<http://www.iab.net>





## インドで展開するZEDO,Inc.に出資 (2013年11月) 国内SSP初、月間1,000億imp規模の グローバルRTB在庫を獲得へ



設立：1998年8月 本社：米サンフランシスコ  
インドでアドテクノロジーサービスを幅広く展開、  
グローバルで1,000社超の媒体社にアドサーバーを提供、インドでプレミアム広告  
枠の約80%のシェア



インドで広告取引プラットフォーム (SSP)  
「YIELD ONE®」を展開へ  
ZEDO,Inc. のアドサーバーに接続、  
グローバルレベルで大規模なRTB在庫獲得が可能に





# 2014年3月期 第2四半期決算説明会

ご清聴誠にありがとうございました。

デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社

J Q 4 2 8 1 <http://www.dac.co.jp>

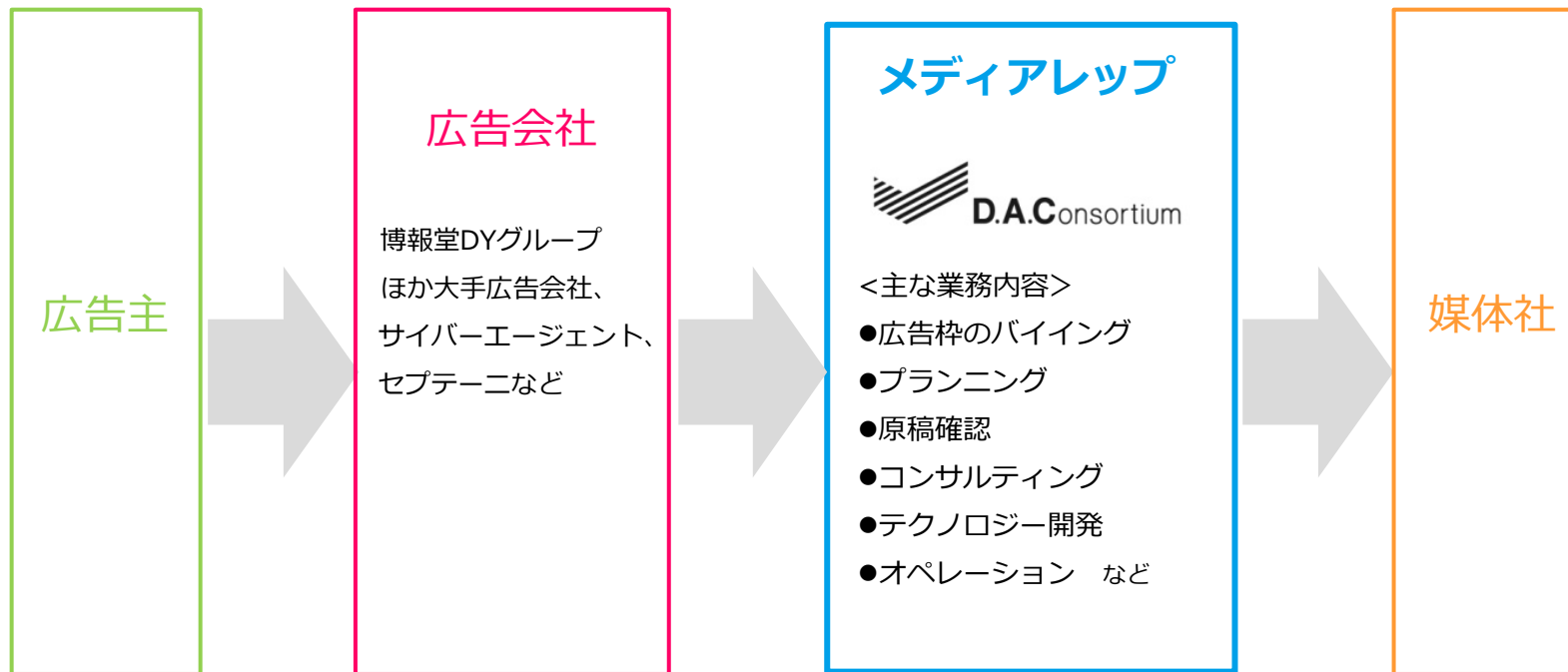
戦略統括本部 社長室

T E L : 03-5449-6300

2013年11月7日

# ご参考

## インターネット広告取引に関するあらゆるサービスを提供

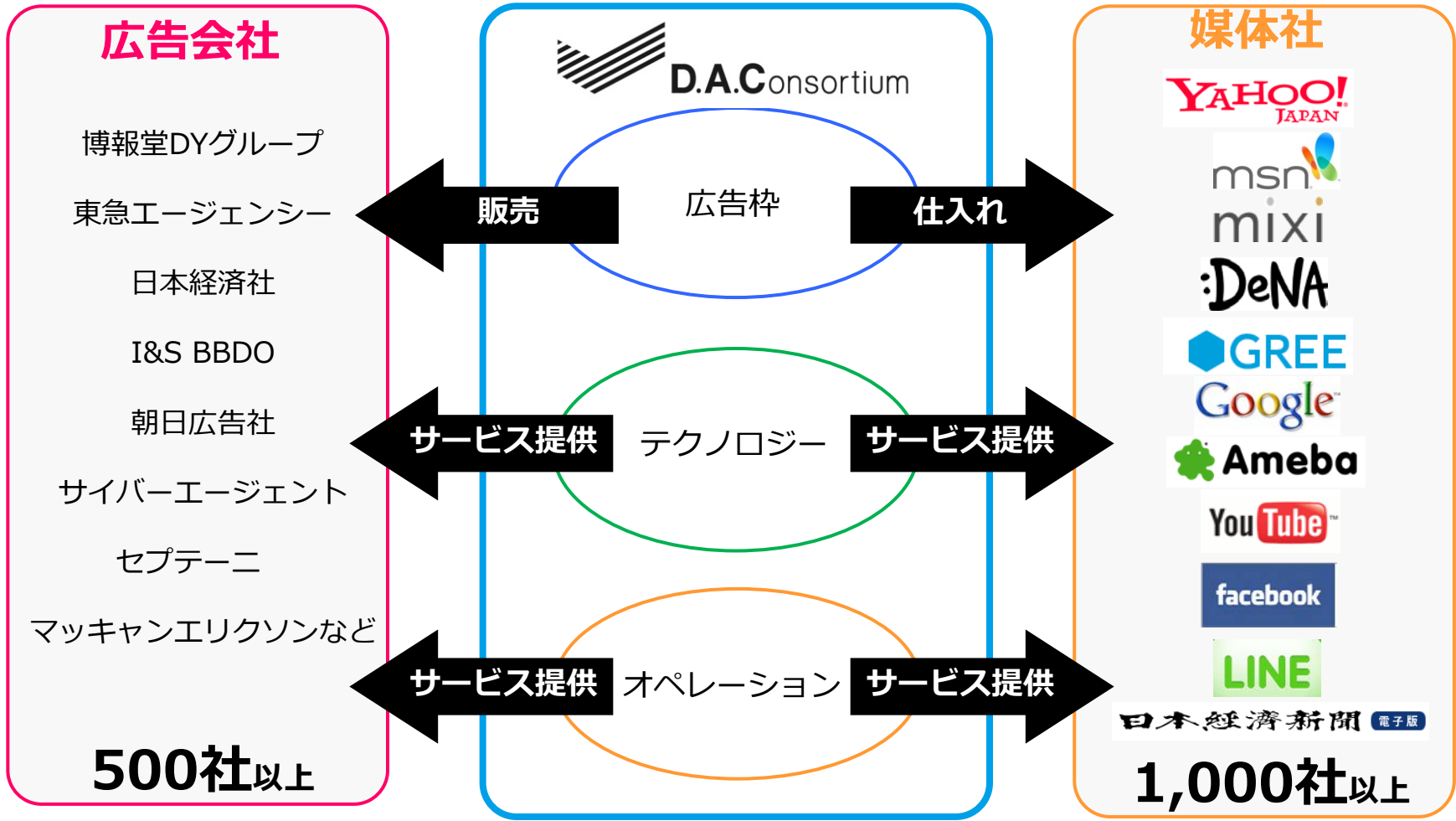


※矢印は広告費の流れ

**コンソーシアム体制**  
博報堂DYグループをはじめとした、大手の有力な広告会社による  
共同出資体制

+

**インターネット広告のメディアレップ**  
媒体社と広告会社の間で、  
インターネット広告取引に関わる  
あらゆるサービスを提供







## エージェント領域

媒体社、および広告主・広告会社を代理する立場となり、円滑な広告取引の実現を支援するためのサービス



## DAS領域

テクノロジー、クリエイティブといった広告関連ソリューション












## メディア領域

インターネットメディアの運営者としてのサービス提供やビジネス展開



# 主なグループ会社（2013年9月30日現在）

区分	ロゴマーク	社名	保有比率	事業内容<上場市場>
主要な連結子会社		アイレップ	54.5%	リスティング広告、SEO、Web解析などのSEM関連サービス事業 ＜東証JASDAQ＞
		ユナイテッド	45.1%	スマートフォンを柱としたメディア事業と広告プラットフォーム事業を柱としたRTB広告事業を展開＜東証マザーズ＞
		博報堂アイ・スタジオ	60.0%	インターネット広告領域全般における制作業務、システム開発業務、CRM業務
		プラットフォーム・ワン	100.0%	オンライン広告取引のプラットフォームサービスの提供
		モデュール	100.0%	アドネットワーク事業及びデータマネジメント事業
		アド・プロ	100.0%	インターネット広告におけるスケジュール管理、送稿、掲載確認などの進行管理業務
		トーチライト	66.0%	ソーシャルグラフィックマーケティングの総合支援サービス（ソリューション&プロデュースサービス）
		北京迪愛慈广告有限公司	50.1%	中国におけるインターネット広告事業
		DAC ASIA PTE. LTD.	100.0%	東南アジア地域における、インターネット広告の戦略立案、事業開発、市場リサーチ、グループ各社のアジア進出の支援
		I-DAC PTE. LTD.	51.0%	東南アジア地域で統合デジタルマーケティングソリューションを提供
主要な持分法適用会社		メンバーズ	19.3%	ウェブインテグレーション、インターネット広告代理事業等を通じたネットビジネス運営代行＜セントレックス＞
		スパイスボックス	34.4%	デジタル・コミュニケーション・デザインにおけるマーケティング及びコンサルティング
		デジタルブティック	38.2%	インターネットにおけるコミュニティサイトの企画、制作、運営代行などの各種サービス事業
		Innity Corporation Berhad	25.1%	東南アジア地域でのオンライン広告取引のプラットフォーム及びアドネットワークの運営＜マレーシア証券市場＞
		ALBERT	17.8%	分析力をコアとし、独自開発のレコメンドエンジンや広告最適化ソリューションを提供

区分	ロゴマーク	社名	事業内容<上場市場>
その他の出資会社		サイバーウイング	国内主要ISPメディアレップ
		デジタルカタパルト	PC・モバイル向けにコミック等のデジタルコンテンツを制作・配信
		データスタジアム	スポーツデータコンテンツ
		ビデオリサーチインタラクティブ	ネット広告視聴率調査、広告配信サーバ
		BrandXing	マーケティング、CRMコンサルティング
		オウチーノ	不動産サイトの企画・制作・運営および広告代理事業
		ボルテージ	デジタルコンテンツ企画制作<東証一部>
		mediba	モバイルメディアレップ、企画、編成、制作
		ゆめみ	モバイルサービスの企画・開発・運営・コンサルティング
		ココア	3D仮想空間サービス「meet-me」の運営
		Origami	東京とニューヨークを拠点に、次世代のeコマースプラットフォームのソフトウェアを開発

## Empowering the digital future

デジタルの未来に、もっと力を。

ネットビジネスのエキスパートとして培った経験と技術力を活かし、  
事業の拡大、デジタル社会の発展に貢献



<ミッション>

- ・刻々と変化するデジタル社会の未来に、活力を与えること。
- ・これからのデジタル社会をよりアクティブにし、デジタルの更なる可能性を切り拓いていくこと。
- ・人と人、企業と企業がデジタルを通じてめぐり逢い、共に新しい夢を描ける社会をつくっていくこと。

本資料は、デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社の事業及び業界動向についてのデジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまとっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社は将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2013年11月7日現在において利用可能な情報に基づいて、デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社により2013年11月7日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

また、販管費内訳、サービス別売上高・売上総利益、媒体メニュー別出稿件数・平均単価、媒体メニュー別売上高・売上総利益、業種別売上高、ソリューション別売上高・売上総利益、大型広告主の動向、連結子会社の動向、連単倍率につきましては、当社独自の分類・区分により算出した社内管理上の数値であり監査法人の監査・レビューを受けておりません。